

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
「元気いっぱい やさしさ いっぱい 笑顔いっぱい 心がややく 笹小キッズ」(笹野台小の合い言葉) ・人とのふれあいを通して、相手を思いやる気持ちや公正公平な心情を育み、豊かな心を育てていきます。 ・楽しく分かる授業を通して、学習する喜びを味わえるようにし、学力向上に努めていきます。 ・健康や安全の大切さを学習や生活の中で体験的にとらえさせることで、健康の保持増進や安全意識を高めていきます。 ・地域行事への参加や地域の教育力を活用していくことで、まち全体で教育を推進していきます。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		全教育活動において道徳教育を充実させるとともに地域連携の場面を通じて、人権意識の高揚を図り、自他を大切にす心育や実践していく力を育てていきます。	① 学校の合言葉を常に意識して、全教育活動において「豊かな心」の育成をしていく。【指針1】 ② 特別活動では「あいさつ運動」、総合ではペア学年活動、音楽的な行事の「スクールコンサート」などを通して自他を尊重することの大切さを養う。【指針2】
担当	児童指導部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

あいさつは次第に増えてきてはいるが、自分から進んでするという段階までは達していない。また、他者を思いやるやさしさは感じられるが、それらが行為として表出してこないことが課題である。さらに、何かを成し遂げたという思いをもっている児童が少ない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

☆全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。

☆昨年度に引き続き、校内研修において道徳を取り上げ、道徳と生活とを関連付け道徳的实践力を高める。

☆自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」や「生きる」を積極的に活用し、幅広い道徳観を指導し、豊かな心の育成に向けた研究を進めていく。【視点1】

指針2 体験学習の充実

☆ペア学年同士の活動を充実させるとともに、全校ポイントラリーをさらに児童主体の行事にして、学級集団だけではなく異年令同士のつながりを築く。また、良い行為や感謝を伝え合えるようなしなかけを増やし豊かな心を育んでいく。【視点3】

指針3 豊かな人権感覚・意識の形成

☆Y-P アセスメントの年2回の実施とアセスメントを行い、各学級に即した子供の社会的スキル横浜プログラムを取り入れていく。12月の人権週間では、お互いの活動や存在を認め合えるような取り組みをしていく。【視点7】

指針4 豊かな感性や情操の育成

☆秋に行われるスクールコンサートや毎月行う音楽朝会を通して、豊かな感性や情操を育む。また、「心のふれあいコンサート」や「横浜市立学校総合文化祭」に参加することで優れた文化・芸術に触れる活動を充実する。【視点10】

4 令和元年度 学年・教科等としての具体的取組

1 学年

豊かな心

- ・学年目標「100%」に向かい、どの友達とも一緒に活動したり勉強したりできるようにする。
- ・友達の良いところや親切にしてもらったことなどを出し合い感謝したり自分の行動を振り返ったりできる機会をもてるようにする。

2 学年

豊かな心

- ・学年の合言葉「たくましく育つ」に向かって、心をやさしく強くもつこと、問題解決力を養うことを軸とする。
- ・友達の良さを伝える機会をもち、友達の良さで自分の良さを認められるよう支援する。

3 学年

豊かな心

- ・相手と自分の良さを認め、互いに高め合うための機会を設定する。
- ・基本的な生活習慣を守ることによって学校生活を豊かに過ごそうとする意識を育てる。
- ・粘り強い子を育てるために、学習でも生活でも最後まで取り組む態度を育成する。

4 学年

豊かな心

- ・礼儀正しい子を育てるために、普段からあいさつや言葉遣いを指導していく。
- ・思いやりのある子を育てるために、ペア学年活動を中心に、相手のことを考えて行動できるように支援する。
- ・粘り強い子を育てるために、学習でも生活でも最後まで取り組む態度を育成する。

5 学年

豊かな心

- ・責任を明確にし、高学年として委員会や学年実行委員で達成感を味合わせ、自己肯定感を高める。
- ・行事や総合的な学習を中心に体験的な活動を通して、様々な経験を積ませることで、豊かな心を育む。
- ・道徳やにこにこ学年活動、幼保小交流を通して、相手の立場に立って、思いやりの心を育てる。

6 学年

豊かな心

- ・様々な行事で実行委員を立て、子供たちが主体的に取り組めるようにしていく。
- ・スモールステップで支援していき、できたことをその場で価値付けていく。
- ・色々な特性をもった児童も、互いに認め合える心を育成していく。

個別支援学級

豊かな心

- ・児童の発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行うようにする。
- ・色々な特性をもった児童も、互いに認め合える心を育成していく。